

X社では次の算定方式で、在庫補充量を決定している。第n週の週末時点での在庫量をB[n]、第n週の販売量をC[n]としたとき、第n週の週末に発注する在庫補充量の算出式はどれか。ここで、nは3以上とする

[在庫補充量の算定方式]

- (1) 週末ごとに在庫補充量を算出し、発注を行う。在庫は翌週の月曜日に補充される。
- (2) 在庫補充量は、翌週の販売予測量から現在の在庫量を引き、安全在庫量を加えて算出する
- (3) 翌週の販売予測量は、先週の販売量と今週の販売量の平均値とする
- (4) 安全在庫量は、翌週の販売予測量の10%とする

- ア  $(C[n-1]+C[n])/2 \times 1.1 - B[n]$
- イ  $(C[n-1]+C[n])/2 \times 1.1 - B[n-1]$
- ウ  $(C[n-1]+C[n])/2 + C[n] \times 0.1 - B[n]$
- エ  $(C[n-2]+C[n-1])/2 + C[n] \times 0.1 - B[n]$

損益計算資料から求められる損益分岐点売上高は、何百万円か。

[損益計算資料] 単位 百万円

売上高	500
材料費(変動費)	200
外注費(変動費)	100
製造固定費	100
純利益	100
販売固定費	80
利益	20

- ア 225      イ 300      ウ 450      エ 480

前期繰越及び期中の仕入と売上は表のとおりであった。期末日である3月31日に先入先出法によって棚卸資産を評価した場合、その棚卸高は何円か

仕 入			売 上	
日付	数量(個)	単価(円)	日付	数量(個)
前期繰越	10	100	4月20日	4
5月1日	15	90	8月31日	8
10月15日	5	70	11月20日	6

- ア 840      イ 980      ウ 1,080      エ 1,180

当期の財務諸表分析の数値が次のとき、売上原価は何百万円か

- (1) 売上原価率 : 80%  
 (2) 売上高営業利益率 : 10%  
 (3) 営業利益 : 200 百万円

ア 1400    イ 1600    ウ 1800    エ 2000

約 200 種の商品を扱う販売店における、ある商品の月別販売状況を表に示す。この商品は月末の在庫状況によって、翌月の下旬に在庫が補充されている。今後、この商品の発注方法として、適切なものはどれか。ここで、売上順位は、全商品を販売金額で順位付けしたときの、この商品の順位である

月	当月入庫数	月末在庫数	販売金額 (千円)	売上順位
1 月	50	45	100	150
2 月	0	25	400	90
3 月	10	0	700	45
4 月	50	0	1,000	23
5 月	100	5	1,900	8
6 月	200	20	3,700	3

- ア 売行きが安定している商品といえるので、一定数量を定期的に発注すべきである  
 イ 売行きの変動が激しい商品といえるので、発注時期を決めないで、在庫が少なくなったときに一定数量を発注すべきである  
 ウ 主力商品に育ってきたといえるので、決め細やかな販売見込み数量を予測し、過剰在庫にも注意を払いながら発注すべきである  
 エ 長期に渡って安定する商品になってきたといえるので、半年間の販売見込み数量を予測し、定期的に発注すべきである

ROE (Return On Equity) を説明したものはどれか

- ア 経営資本に対する利益の比率である。主たる経営活動に運用されている資本の効率を表し、本来の経営活動の収益性を示す  
 イ 自己資本に対する利益の比率である。株主持分に対する収益力の指標であり、株主持分の運用効率を示し、配当能力の目安にもなる  
 ウ 総資産に対する利益の比率である。企業の経営活動に投下された資本の運用効率を示す  
 エ 投下資本に対する利益の比率である。企業全体、個別投資プロジェクト、事業部などの投資効率を判断するための指標となる

問題 06-07 IP210213

□□□□

損益計算資料から求められる損益分岐点となる売上高は何百万円か。

[損益計算資料] 単位 百万円

売上高	400
材料費(変動費)	140
外注費(変動費)	100
製造固定費	100
粗利益	60
販売固定費	20
営業利益	40

ア 160

イ 250

ウ 300

エ 360

問題 06-08 AD180166

□□□□

販売価格が 12 万円の製品を製造するのに、表のような案 A と案 B がある。販売数量によって、どちらの案が有利かが決まる。案 A と案 B において、有利さが逆転する月間販売数量は何個か

	月当たり固定費	変動費単価
案 A	1,000 万円	7 万円/個
案 B	2,000 万円	5 万円/個

ア 400

イ 500

ウ 600

エ 700

問題 06-09 IP210114

□□□□

売価が 20 万円の新品を売り出して、8,000 万円を売り上げた。固定費は 4,000 万円であり、利益は 2,000 万円のマイナスであった。利益をマイナスにしないためには、あと何個以上売る必要があるか。

ア 100

イ 200

ウ 400

エ 800

問題 06-10 AD210166

□□□□

移動平均法による材料の払出単価の計算方法はどれか。

ア 購入した各材料単価の平均を払出単価とする。

イ 購入する都度、材料ごとの購入価格を記録し、最も早く購入した材料の購入単価を期中の払出単価とする。

ウ 購入する都度、そのときの残高とその材料の購入金額を加算し、それを残量と購入量の合計数量で割り、払出単価とする。

エ その期の最後に購入した材料の単価を期中の払出単価とする。

企業の売上高、固定費及び変動費が分かっているとき、損益分岐点比率、損益分岐点売上高及び変動比率は、それぞれ次の式で求めることができる。これらの式から言える適切な記述はどれか。

$$\text{損益分岐点比率} = \text{損益分岐点売上高} \div \text{売上高}$$

$$\text{損益分岐点売上高} = \text{固定費} \div (1 - \text{変動費率})$$

$$\text{変動費率} = \text{変動費} \div \text{売上高}$$

- ア 売上に占める固定費が大きいほど、損益分岐点比率は低くなり、利益が増加する。  
 イ 損益分岐点比率が高いほど、売上に対する利益は多くなる。  
 ウ 損益分岐点比率が低いほど、売上に対する利益は多くなる。  
 エ 変動費率が高くなれば、損益分岐比率は低くなり、利益も低下する。

次の損益計算書から求められる営業利益は何百万円か。

単位 百万円

売上高	7,500
売上原価	6,000
販売費及び一般管理費	1,000
営業外収益	160
営業外費用	110
特別利益	20
特別損失	10
法人税等	260

- ア 300      イ 500      ウ 550      エ 1,500

新規システムの構築を、新規開発又はパッケージ採用によって実施する場合の初期投資額、効果額、運用費、保守料が表のとおりであるとき、初期投資額の回収年数が最少となるものはどれか。

	システムの 構築方法	初期投資額 (万円)	効果額 (万円/年)	運用費 (万円/年)	保守料 (万円/年)
ア	新規開発	1,250	720	240	180
イ	新規開発	900	510	170	90
ウ	パッケージ採用	800	440	120	160
エ	パッケージ採用	600	300	80	120

問題 06-14 IP210218

□□□□

企業会計を財務会計と管理会計に分類したとき、管理会計の特徴を表したものはどれか。

- ア 一会計期間ごとに決算を行い、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表の作成が強制される
- イ 企業の経営者が、株主や債権者などの企業外部の利害関係者に対して会計報告を行う
- ウ 財務諸表規則や企業会計原則、各種会計基準などの会計法規に準拠した会計処理を行う必要がある
- エ 部門、製品、地域別などの予算統制、利益管理、業務評価など、経営判断のための内部報告書を作成する

問題 06-15 IP220219

□□□□

損益計算書に記載される A～E の五つの利益のうち、C に当てはまるものはどれか。

単位 億円	
売上高	100
売上原価	75
A	25
販売費及び一般管理費	10
B	15
営業外収益	3
営業外費用	7
C	11
特別損失	2
D	9
法人税・住民税及び事業税	3
E	6

- ア 売上総利益
- イ 営業利益
- ウ 経常利益
- エ 当期純利益

問題 06-16 AD170167 AD150268 AD200167

□□□□

損益分析において、固定費として扱われるものはどれか

- ア 商品の配送費用
- イ 直接作業員の時間外手当
- ウ 販売量に応じた販売店へのリベート
- エ マスコミ媒体広告費

問題 06-17 AD180165 AD150266 AD210164

□□□□

企業会計において、仕訳において日付順に整理された取引を、勘定科目ごとに記帳整理し、決算に必要な基礎資料を提供する役割を果たすものはどれか

- ア 試算表
- イ 仕訳帳
- ウ 精算表
- エ 総勘定元帳

問題 06-18 AD200166

□□□□

ある商品の当期の売上高、費用、利益は表のとおりである。この商品の販売単価が5千円の場合、来期の利益を2倍以上にするためには少なくとも何個販売すればよいか。

単位 千円

売上高	10,000
費用	
固定費	2,000
変動費	6,000
利益	2,000

ア 2,400

イ 2,500

ウ 3,000

エ 4,000

問題 06-19 AD180267

□□□□

部品の受払記録が表のように示される場合、先入先出法を採用したときの4月10日の払出単価は何円か

取引日	取引内容	数量(個)	単価(円)	金額(円)
4月1日	前月繰越	2,000	100	200,000
4月5日	購入	3,000	130	390,000
4月10日	払出	3,000		

ア 100

イ 110

ウ 115

エ 118

問題 06-20 AD180264

□□□□

期末の決算において、表の損益計算資料が得られた。当期の営業利益は何百万円か

単位 百万円

項目	金額
売上高	1,500
売上原価	1,000
販売費及び一般管理費	200
営業外収益	40
営業外費用	30

ア 270

イ 300

ウ 310

エ 500

問題 06-21 AD190165

□□□□

期首商品棚卸高20百万円、当期商品仕入高100百万円、期末商品棚卸高30百万円のと看、当期の売上原価は何百万円か

ア 50

イ 70

ウ 90

エ 110

問題 06-22 AD200164

□□□□

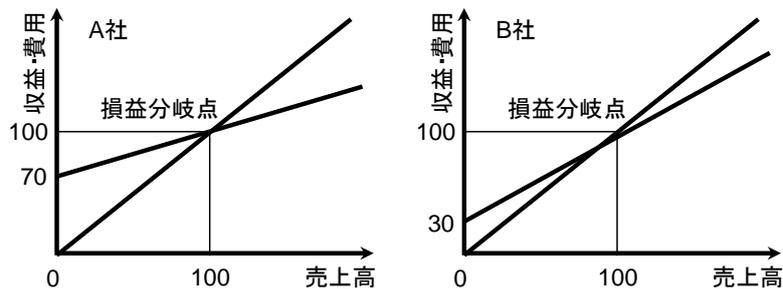
財務諸表のうち、一定時点における企業の資産、負債及び資本を表示し、企業の財政状態を明らかにするものはどれか

- ア 株主資本等変動計算書
- イ キャッシュフロー計算書
- ウ 損益計算書
- エ 貸借対照表

問題 06-23 AD200165

□□□□

図は二つの会社の損益分岐点を示したものである。A社とB社の損益分析に関する記述のうち、適切なものはどれか。



- ア A社、B社ともに売上高が増加した場合、固定費の少ないB社の利益がA社に比べて増加する。
- イ A社では製品1個当たりの変動費が少ないので、損益分岐点を越えた売上高のとき、B社に比べ利益が大きくなる。
- ウ 両者の損益分岐点は同じなので、同じ利益を生み出すために必要な売上高は両者とも常に同じである。
- エ 両者は損益分岐点と同じであり、固定費も同じであるので、売上高が同じであれば、損益も同じになる。

問題 06-24 AD170265 AD200264

□□□□

損益分岐点に関する記述のうち、適切なものはどれか

- ア 固定費が変わらないとき、変動費率が低くなると損益分岐点は高くなる
- イ 固定費が変わらないとき、変動費率が元の1/2になれば損益分岐点も1/2になる
- ウ 損益分岐点での売上高は、固定費と変動費の和に等しい
- エ 変動費率が変わらないとき、固定費が小さくなると損益分岐点は高くなる

問題 06-25 IP220110

□□□□

親会社が、子会社を含めた企業集団の決算日における資産と負債、純資産を対比して示すことによって、企業集団の財務状態を表す連結財務諸表はどれか。

- ア 連結株主資本等変動計算書
- イ 連結キャッシュフロー計算書
- ウ 連結損益計算書
- エ 連結貸借対照表

問題 06-26 AD190166

□□□□

表の前期実績に対して、当期は仕入原価の低減によって変動費率が 5% 下がり、経費削減などによって固定費を 800 万円削減できる。当期利益を 1,400 万円とする目標売上高は何万円か

単位 万円

売上高		10,000
総費用	変動費	3,000
	固定費	6,000
	計	9,000
利益		1,000

ア 8,800

イ 9,400

ウ 9,450

エ 9,900

問題 06-27 AD200265

□□□□

商品 A を先入先出法で評価した場合、当月末の在庫の評価額は何円か。

日付	商品 A の取引内容	個数 (個)	単価 (円)
1	繰越在庫	10	100
4	購入	40	120
5	払出し	30	
7	購入	30	140
10	購入	10	110
30	払出し	30	

ア 3,300

イ 3,400

ウ 3,600

エ 3,900

問題 06-28 AD180265

□□□□

事業年度初日の平成 17 年 4 月 1 日に、事務所用のエアコンを 60 万円で購入した。平成 19 年 3 月 31 日現在の帳簿価格は何万円か。ここで、耐用年数は 6 年、減価償却は定額法によるものとし、残存価格は 10% とする

ア 36

イ 40

ウ 42

エ 51

問題 06-29 AD200266

□□□□

決算において、棚卸磨耗費として処理するものはどれか。

- ア 期中に購入した有価証券の時価が期末に下落している場合
- イ 仕入れた商品の時価が期末に下落している場合
- ウ 実地棚卸数量が帳簿数量に満たない場合
- エ 有形固定資産を定額法で減価償却する場合

問題 06-30 AD180266

□□□□

次の条件で喫茶店を開業したい。月 10 万円の利益を出すためには、1 客席当たり 1 日何人の客が必要か

客 1 人当たりの売上高	500 円
客 1 人当たりの変動費	100 円
固定費	300,000 円/月
1 ヶ月の営業日数	20 日
客席数	10 席

ア 3.75

イ 4

ウ 4.2

エ 5

問題 06-31 AD190164

□□□□

企業会計原則における保守主義の原則を適用した例はどれか

- ア 減価償却の計算方法を毎期継続して適用する
- イ 資本準備金と利益準備金を区別する
- ウ 棚卸資産の評価基準を低価法にする
- エ 複式簿記を使用し、会計帳簿に正確な記録を行う

問題 06-32 AD190264

□□□□

損益計算書を説明したものはどれか。

- ア 一会計期間内の資金の変動を、営業・投資・財務の 3 領域の活動で示したもの
- イ 一会計期間に属するすべての収益と費用を記載し、算出した利益を示したもの
- ウ 一定期間における、現金・預金の収入・支出を示したもの
- エ 会計期間末日時点でのすべての資産、負債、株主資本などを記載したもの

問題 06-33 AD200263

□□□□

キャッシュフロー計算書において、財務活動によるキャッシュフローに該当するものはどれか。

- ア 株式の発行による収入
- イ 商品の仕入による支出
- ウ 損害賠償金の支払による支出
- エ 有形固定資産の売却による収入

問題 06-34 IP220119

□□□□

企業の経営状況を外部に公開することを何というか。

- ア 株式公開
- イ 企業格付け
- ウ コンプライアンス
- エ ディスクロージャ

問題 06-35 IP210210

□□□□

キャッシュフローの増加要因となるものはどれか。

- ア 受取手形や売掛金などの売上債権の増加
- イ 器具や備品などの投資金額の増加
- ウ 製品在庫などの棚卸資産の増加
- エ 短期や長期の借入金の増加

問題 06-36 IP220226

□□□□

A社は製品Bの製造及び販売を行っている。このとき、製品Bの総原価を計算する方法のうち、適切なものはどれか。ここで、総原価は製品Bの販売までに要したすべての原価を指す。

- ア 製品Bの売上高 - 製品Bの営業費
- イ 製品Bの売上高 - 製品Bの製造原価
- ウ 製品Bの製造原価 + 製品Bの営業費
- エ 製品Bの製造原価 + 製品Bの営業利益

問題 06-37 IP210116

□□□□

損益計算書を説明したものはどれか。

- ア 一会計期間における経営成績を表示したもの
- イ 一会計期間における現金収支の状況を表示したもの
- ウ 企業の一定時点における財務状態を表示したもの
- エ 純資産の部の変動額を計算し表示したもの

問題 06-38 IP220221

□□□□

財務諸表のうち、“営業活動”、“投資活動”、“財務活動”の三つの活動区分に分けて表すものはどれか。

- ア キャッシュフロー計算書
- イ 損益計算書
- ウ 貸借対照表
- エ 有価証券報告書